令和５年度　野田市立関宿小学校　全体構想（グランドデザイン）

目指す児童像
(1) 自ら学び、考え、進んで活動できる子
(2) 豊かな心で、思いやりがある子
(3) 健康で明るく、がんばる子

目指す学校像
(1) あたたかい学校（温かさと優しさに満ちた学校）
(2) 強さのある学校（強い心で何事にも やる気を持って挑む学校）
(3) 楽しい学校（向上心があり 笑顔があふれる学校）

目指す教職員像
(1) 児童の思いや願いをくみ取れる感性豊かな教職員
(2) 教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼される教職員
(3) 保護者や地域の方と児童の教育に連携・協力し合ってあたる教職員
(4) 専門職としての指導力の向上を目指し、絶えず学び続ける教職員
(5) 心と身体の健康を保つことのできる教職員

日本国憲法・教育基本法
学校教育法・学習指導要領
県の施策・重点・指導方針
東葛事務所の重点・指導方針
市の施策・重点・指導方針

地域・保護者の願い
歴史と文化に誇り
学校と地域で育てる
小中連携の積み重ね
九年間落ち着いた環境
地域との連携
明るく素直に成長

学校教育目標

心豊かなたくましい児童の育成

～ 一人ひとりが輝く　みんなで作る関宿小 ～

偉人の教え
『貴為和以』
『正直に 腹を立てずに 撓まず励め』
『集い鍛えよ 知と力』

基本方針
(1) 一人ひとりの児童・教職員が輝くことができる学校を創る
(2) 「チーム関宿」で、児童を伸ばし育てるための創意と工夫に努める
(3) 地域とつながり、地域を誇りとし、地域を語ることができる子どもを育てる
(4) 主体的に生きる力を育成するために、小中連携を進めていく

重点事項
(1) 日常的、計画的な安全教育を継続する。（危険を予測し回避できる能力を育成）
(2) 意欲を高め、喜びを感じさせる学習指導、生活指導に努める。
(3) 児童理解を深め、一人ひとりのニーズに応じた指導と支援を丁寧に進める。
(4) 教育活動の中で、自己有用感が高まるような工夫を取り入れていく。
(5) 教育活動を通して、低学年では非認知能力が高まる工夫をする。
(6) 保健指導、食育指導等を通して、健康づくりや感染症対策に留意させる。
(7) ICT 活用の実践を積み重ね、効果的な活用方法を一般化していく。
(8) 学校支援地域本部・地域の方々等と連携を図り、地域の教育力を活かす。
(9) 質の高い教育の実現に向けて業務改善を更に進めていく。
(10) 関宿ならではの特色ある取り組みを大切にし、その情報を積極的に発信する

学力向上の取り組み
(1) 支持的風土を醸成する　＝互いに認め合い、支え合う集団づくり
(2) 非認知能力（自己認識・意欲・忍耐力･自制心・ﾒﾀ認知ｽﾄﾗﾃｼﾞｰ・社会的能力・回復力・対処能力･創造性･性格的な特性）を伸ばす工夫をする　＝愛情を注ぐ、共感する、自信を持たせる
(3) 自己有用感を高める工夫をする　＝自分に対する他者からの評価、褒めるではなく認める

①授業の改善（PDCA サイクル）
・単元全体の指導計画の見通しを持つ
・学ぶ意味を持たせる学習問題の設定をする
・思考を深めるように発問を工夫する
・書く目的、内容、方法を明確にした指導をする
・次の学習や生活に活かせるまとめをする
・違いを認め合い、他を尊重する姿勢を育成する

②学び方を定着させる
・基本的な学習規律を早期に確立する
・自ら教材に取り組む意欲を醸成する
・言語活動を充実した学習過程を意識させる
・図書館教育を充実させる

③指導体制を工夫する
・Ｓタイムを充実させる→算数は３人体制
・個人差に応じた指導→取り出しての指導も行う
・少人数指導を充実する
　→低中学年はＴＴ、高学年は習熟度別
・補充学習の充実→はなまる教室

④家庭と連携する
・早寝・早起き・朝ご飯を推奨する
・基本的な生活習慣を定着させる
・家庭でメディア利用の把握とルールづくりをする
・家庭との課題の共通理解を図る
・家庭での学習の習慣化を図る
　→自主的な家庭学習を習慣とさせたい
・非認知能力を伸ばす、自己有用感を高める連携を行っていく

⑤校内研修を充実させる
・毎週金曜日の15時からの研修の時間を確保す
・日常的に学び合う場を設定する（学団を中心に）
・算数科における研修を充実させる
・ＩＣＴ機器の活用研修を行う
・掲示板を活用して職員間の情報の伝達をスムーズに行う